

「連合2018平和行動 in 広島」派遣団報告

核兵器廃絶と世界の恒久平和を願う ～平和ヒロシマ集会に、全国から2,000人超が結集～



挨拶する神津里季生
連合会長

1945年8月6日午前8時15分、暑い広島
の街に凄まじい熱線と爆風、一瞬にして焼け
野原となった広島、人類が作りだした恐るべき
原子爆弾により何の罪もない14万人余りの尊
い命が奪われたあの日から73年目を迎えました。
同じ悲劇を二度と繰り返さぬよう今年も核
兵器廃絶と恒久平和の実現を求める「連合2018平和ヒロシマ集会」が8月5日(日)広島
県立産業会館において、全国から2,000人を超える多くの仲間が結集して開催されました。連合福島からは、会津
若松地区連合の新井田英幸さんを団長に10名が参加しました。集会に先立ち連合福島青年女性委員会幹事の今野未奈
子さんが連合福島を代表して平和の折鶴を献納しました。



連合2018平和ヒロシマ集会

集会では連合神津会長が主催者を代表して挨拶、今年国際労働組合総連合(I L O)から、マクブール・サハーン
法制局長が核兵器廃絶と平和で公正な社会の実現を求めるメッセージを発信しました。また講演会では箕牧智之氏に
よる被爆体験証言、広島市立大学平和研究所准教授福井康人氏によるN P T再検討会議に向けた準備委員会の検討状況
等が披露されました。高校生平和大使「ビリョクだけどもリョクじゃない!」の若者らが核兵器廃絶と世界の恒久平和
を願うメッセージを伝え、最後に全員参加で「平和アピール」を採択、「原爆を許すまじ」を合唱し「ヒロシマ集会」
は閉会となりました。

翌6日、広島市主催の原爆死没者慰霊式ならびに平和祈念式典に参加し、午前8時15分、静寂の中、平和の鐘が鳴
り響く会場で連合福島派遣団10名も黙祷を捧げました。この日世界各国から多くの方が参加されており改めて核兵器
の悲惨さを痛感しました。

世界で唯一の被爆国である日本から核兵器廃絶と世界の恒久平和実現に向けて尽力することを宣言し、平和運動がさ
らに広がり、戦争のない平和な世界が実現することを広島の空へ改めて願いました。

夕暮れの原爆ドーム前の元安川には冥福を祈る灯籠と平和を願う灯籠が手を繋ぐかのように緩やかに流れて行きま
した。熱い広島でしたが、新井田英幸団長のもと団結して役割を果たす事が出来ました。参加者の皆様に改めて感謝申
し上げます。(記:いわき地区事務局長 木戸順一)

夕暮れの原爆ドーム前の元安川には冥福を祈る灯籠と平和を願う灯籠が手を繋ぐかのように緩やかに流れて行きま
した。熱い広島でしたが、新井田英幸団長のもと団結して役割を果たす事が出来ました。参加者の皆様に改めて感謝申
し上げます。(記:いわき地区事務局長 木戸順一)



連合福島派遣団の皆さん



連合福島を代表して平和の
折鶴を献納する今野さん



73年が経過した原爆ド
ーム、手前が元安川